

2012年高校総体報告

倉吉東高
高校新聞

高校総体特集
6月13日発行
倉吉東高新聞部

陸上部女子が初の総合優勝達成



▲ 4 × 400mリレー 柴田さんが優勝テープを切る

6月2日から4日にかけての3日間、第47回鳥取県高校総体が開催された。倉吉東各部の結果を報告する。

・陸上

△男子▽	
100m	渡邊 孝道 五位
200m	澤 大芽 六位
400m	澤 大芽 六位
800m	手石 雅人 優勝
1000m	加藤 研三 五位
1500m	加藤 研三 六位
3000m	田中 圭祐 優勝
5000m	田中 圭祐 三位
10000m	田中 圭祐 三位
20000m	田中 圭祐 三位
30000m	田中 圭祐 三位
40000m	田中 圭祐 三位
50000m	田中 圭祐 三位
60000m	田中 圭祐 三位
70000m	田中 圭祐 三位
80000m	田中 圭祐 三位
90000m	田中 圭祐 三位
100000m	田中 圭祐 三位

200m	柴田 あすみ 三位
400m	坂田 悠維 三位
800m	岡崎 楓子 六位
1000m	田中 佐和 六位
1500m	門脇 美季 二位
2000m	門脇 美季 二位
3000m	牧 香澄 六位
4000m	柴田 あすみ 優勝
5000m	岡崎 楓子 三位
6000m	門脇 美季 六位
7000m	萩原 くらら 優勝
8000m	萩原 くらら 二位
9000m	萩原 くらら 二位
10000m	萩原 くらら 二位
11000m	萩原 くらら 二位
12000m	萩原 くらら 二位
13000m	萩原 くらら 二位
14000m	萩原 くらら 二位
15000m	萩原 くらら 二位
16000m	萩原 くらら 二位
17000m	萩原 くらら 二位
18000m	萩原 くらら 二位
19000m	萩原 くらら 二位
20000m	萩原 くらら 二位

4月から2ヶ月が経ち、本日に良いチームになりました。鳥取県の中で一番良いチームだと、胸を張って言えます。県総体では、悲願の中国出場を果たし涙を流す選手や、それを一緒に喜んで喜ぶ最高のチームがありました。中国総体でも、そんなチームの姿を示していきたいと思っています。保護者の皆さんには、本当にお

・バレーボール

男子

一回戦 倉東 2・0 境総
二回戦 倉東 0・2 米工

初戦は5月の練習試合の時、負けていた境港総合で、強い気持ちで忘れず攻めることができた。勝つことが出来た。2回戦では負けてしまったが、強い気持ちで持ち全員で攻めることができたので良かったです。1年の総体が終わる3年生が引退されてから6人で部活をしてきて、時には辛いこともあったが、先生方やコーチに支えられ総体までやってこることができました。本当にありがとうございました。(中野慶太)

女子

一回戦 倉東 2・1 高専
二回戦 倉東 0・2 米西

試合会場本校だったというところもあり、たくさんの方が応援に駆けつけてくださいました。緊張と不安でいっぱいでしたが、今までの努力が皆の自信となり、最後までボールを諦めず、最高の笑顔でコートを走り回ることが出来たと思います。素敵な部員達と最後まで一緒に大好きなバレーが出来たこと、本当に幸せです。今まで私達に関わってくださった全ての方々に感謝しています。本当にあり

がとうございました。

(茅原万奈)

・ソフトボール

男子

一回戦 倉東 14・0 松蔭
二回戦 倉東 3・4 育英

一試合目の松蔭戦ではハッテリーが試合をつくり、野手が盛り立て勝利を得ました。二回戦では、目標としてきた育英戦でした。負けはしたものの粘り強く試合することができ、悔いの残らない試合だったのによかったです。後輩の人達にはこの悔しさをバネに、必ずインターハイに行つて欲しいです。最後に、今まで支えてくださった先生方、本当にありがとうございました。(柏成顕)

女子

一回戦 倉東 1・11 米子・米東

最後まで悔いの残る試合でした。人数が足りなくて練習もなかなかスムーズに出来ず、悔しい思いもたくさんしました。途中で投げ出さず最後まで続けてきたことに意味があると信じています。来年は6人というところで危機的状況なので、ソフトに興味のある子、初心者でもいいので入ってあげてください。(八江友子)

・アーチェリー

団体戦

男子

女子

個人戦

野田 寛貴	6 位
中 原 颯太	4 位
中 原 颯太	4 位
野田 寛貴	6 位

二年連続での男子団体のインターハイを目標にしてきたが、惜しくも二位に終わった。試合で練習の成果を発揮できなかった人も多かったと思う。一・二年生は、試合のための練習を心がけ、頑張つて欲しいと思う。日頃よりお世話になっている前田先生、山根先生、農高の皆様、今まで本当にありがとうございました。(野田 寛貴)



▲ 集中しての的を狙う野田君(左)

・バドミントン

男子

個人戦・シングルス

牧田直之 一回戦敗退

三年生にとって最後の公式戦でしたが、今年は昨年よりさらに部員数が減ってしまったために、団体戦には出場できませんでしたが、個人戦のシングルスでは、相手の技に振り回されてしまい、ミスが目立ってしまいました。これから1年生だけで部活をやっていく事になるので、お互いのプレーを修正しあつて次の大会に備えて努力してもらいたいです。支えて応援して下さいました。ありがとうございました。(牧田直之)

女子

団体戦

二回戦 倉東 1・3 米東

団体戦、個人戦ともに悔しい結果となってしまいました。自分の力が十分に発揮できなかったり、成長をした自分を見つけたりと様々だったと思います。このメンバーで部活が出来て本当に良かったです。1・2年生には勝ち上がれるように頑張つて欲しいです。応援ありがとうございました。(育尾美幸)

・柔道

個人戦

60kg級 足立廉太郎 ベスト8
73kg級 浦田 大地 ベスト8

インターハイ出場をかけた臨んだ初めての高校総体はとても悔しい結果に終わりました。今回それぞれの本当の実力が分かったと思います。今回応援、支えてくださった方々、ありがとうございました。入学して二ヶ月が過ぎ、後たつた二年しかないの、団体インターハイ出場、個人インターハイベスト8を目標に一日一日を大切にしていきたいです。(足立廉太郎)



▲ 足立君(左)の組み手争い